

エコアクション21

2014年度環境活動レポート

(対象期間 2014年7月 ～ 2015年6月)



作成日:2014年8月24日

 株式会社 曾我産業

〒031-0114 青森県八戸市南郷区大字中野字丑木沢41番7

TEL0178-82-2347 Fax0178-82-2361

目 次

- I. 環境方針
- II. 組織の概要
- III. 環境目標
- IV. 環境目標の実績
- V. 環境活動計画及び取組結果の評価、次年度の取組内容
- VI. 環境関連法規の遵守状況確認、訴訟等の有無
- VII. 代表者による全体評価と見直しの結果
- VIII. 廃棄物処理に係る組織の概要

I、環境方針

株式会社曾我産業 環境方針

<環境理念>

株式会社曾我産業は、ますます深刻化する環境問題への対応がこれからの、事業活動における重要課題と認識し、事業活動である建設業・廃棄物処理業を通じて環境負荷の低減を図るために全社一丸となり、環境保全活動に自主的、積極的に取り組むほか、循環資源の有効利用を促進し循環型社会の実現に向けて努力してまいります。

<環境保全への行動指針>

- 1、地球温暖化防止のために、二酸化炭素の排出削減を推進します。
 - ①電力、燃料等の消費に伴う二酸化炭素排出量削減。
 - ②収集運搬業における環境負荷を、エコドライブの推進により低減する。
- 2、限りある資源を有効活用するため、廃棄物削減と資源の有効利用を推進します。
 - ①廃棄物について、分別・回収の徹底による発生抑制と資源の有効利用に努めます。
 - ②受入廃棄物の再資源化の推進。
 - ③事務所等の一般廃棄物の削減と分別の徹底。
 - ④事務用品等のグリーン購入の推進。
- 3、水資源の有効活用のために、節水に取り組みます。
 - ①事務所や建設現場での節水活動による使用量の削減。
- 4、事業活動に関連する環境法令の厳守。
- 5、環境に配慮した製品及びサービスの推進に努めます。
- 6、地域の環境保全に資するために、環境に配慮した事業活動に努めます。
 - ①建設現場における騒音、振動、粉じん等の低減化に取り組みます。
 - ②建設現場や処理施設における適正な排水処理に努めます。
 - ③清掃活動などのボランティア活動への積極的に参加します。
 - ④化学物質について、適正に管理、記録し、定期的な確認に努めます。
- 7、環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 8、環境活動レポートの公表など、地域との環境コミュニケーションに努めます。

制定日：平成22年 5月31日
改定日：平成23年 7月15日

株式会社曾我産業

代表取締役 曾我 浩昭

II、組織の概要

1、名称及び代表者名

株式会社 曾我産業 代表取締役 曾我 浩昭

2、所在地

本社 : 〒031-0114 青森県八戸市南郷大字中野字丑木沢41番7
TEL 0178-82-2347 FAX 0178-82-2361

青森営業所 : 〒038-1301 青森県青森市浪岡大字大釈迦字沢田113番地43
TEL 0172-62-8240

3、環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 : 環境管理責任者 金田 貴行 TEL 0178-82-2347
FAX 0178-82-2361
E-mail shimomura@sogasangyo.co.jp

: 事務局担当者 下村 敏也 TEL 0178-82-2347
FAX 0178-82-2361

4、事業活動の内容

建設業 : 青森県知事許可(特-24)第11002号
平成24年8月21日から平成29年8月20まで
土木工事業、建設工事業、大工工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業
水道施設工事業
: 青森県知事許可(般-21)第11002号
平成26年11月11日から平成31年11月10まで
造園工事業

産業廃棄物処理業 : 青森県、岩手県

産業廃棄物収集運搬業 : 青森県、岩手県、秋田県

一般廃棄物処分業 : 青森県八戸市

一般廃棄物収集運搬業 : 青森県八戸市、青森県青森市、岩手県久慈地区
秋田県鹿角地区、青森県黒石地区、秋田県上小阿仁地区

5、事業規模 24・25・26年度

活動規模	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
売上高	百万円	566	742	616
従業員	人	41	37	36
床面積	m ²	6,350	6,350	6,350

6、登録組織 : 株式会社曾我産業の全組織。全活動を対象とする。

(青森営業所については、無人のため環境負荷無し)

7、レポートの対象期間

今回の環境活動レポートは、平成26年7月から平成27年6月までの期間について報告します。

Ⅲ、環境目標

1、主な環境負荷の実績

表. 1-1

環境項目		単位	2011年度	2014年度	2014年度			
			基準値	目標値	実績値			
二酸化炭素排出量	電力	KgCO ₂	13,096	12,703	18,206			
	ガソリン・軽油	KgCO ₂	678,068	644,165	767,777			
	灯油・LPG	KgCO ₂	21,332	20,692	17,936			

購入電力の排出係数は、0.473kg-CO₂/kWh(東北電力㈱の平成19年度の排出係数)です。

二酸化炭素排出量

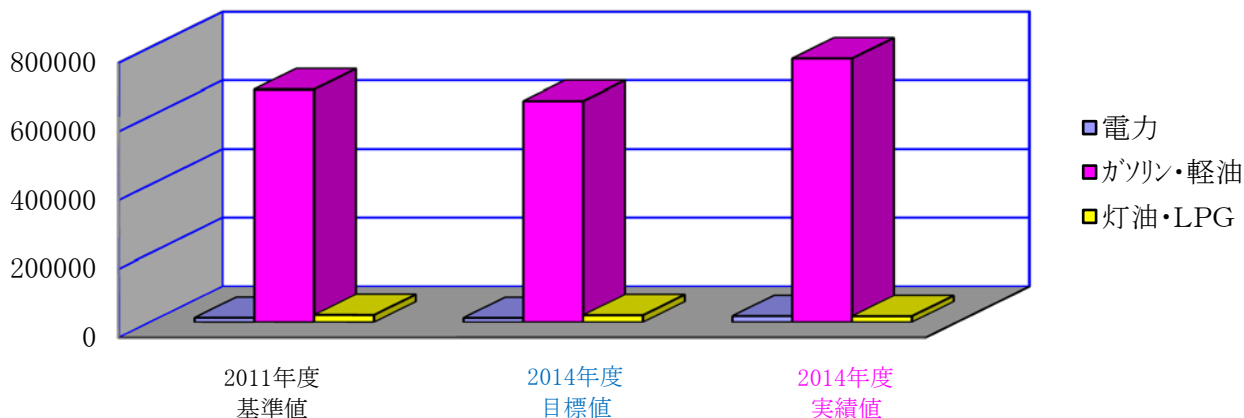
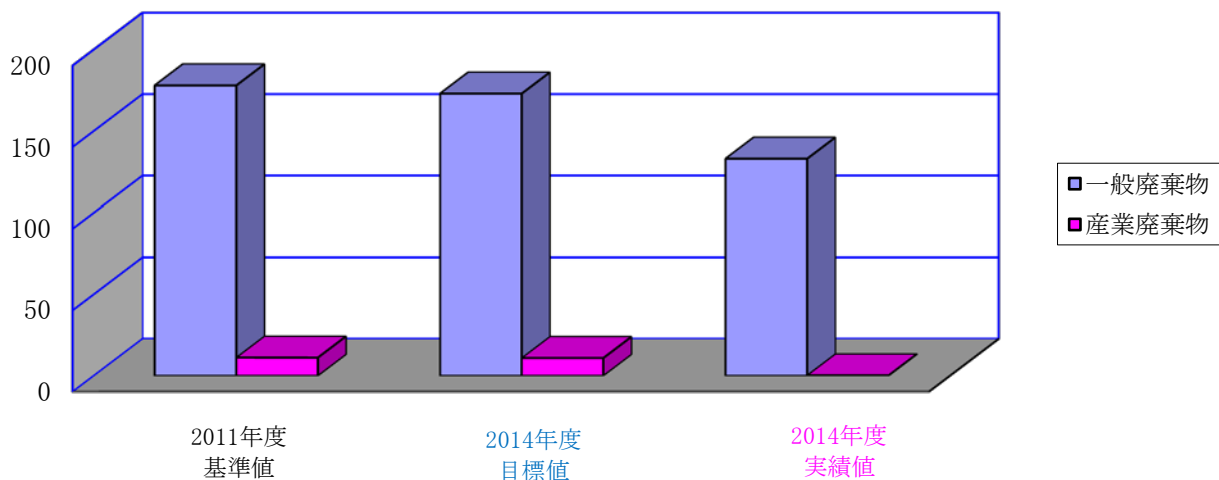


表. 1-2

環境項目		単位	2011年度	2014年度	2014年度			
			基準値	目標値	実績値			
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	178.00	173.00	133.00			
	産業廃棄物	t	11.17	10.90	0.25			

廃棄物排出量



Ⅲ、環境目標

1、主な環境負荷の実績

表. 1-3

環境項目	単位	2011年度	2014年度	2014年度			
		基準値	目標値	実績値			
節 水	水道量	m ³	159	151	344		

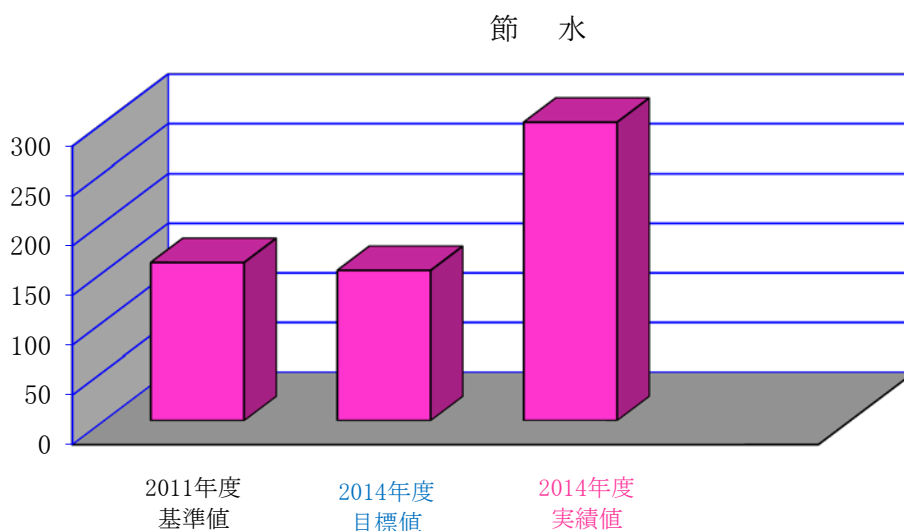
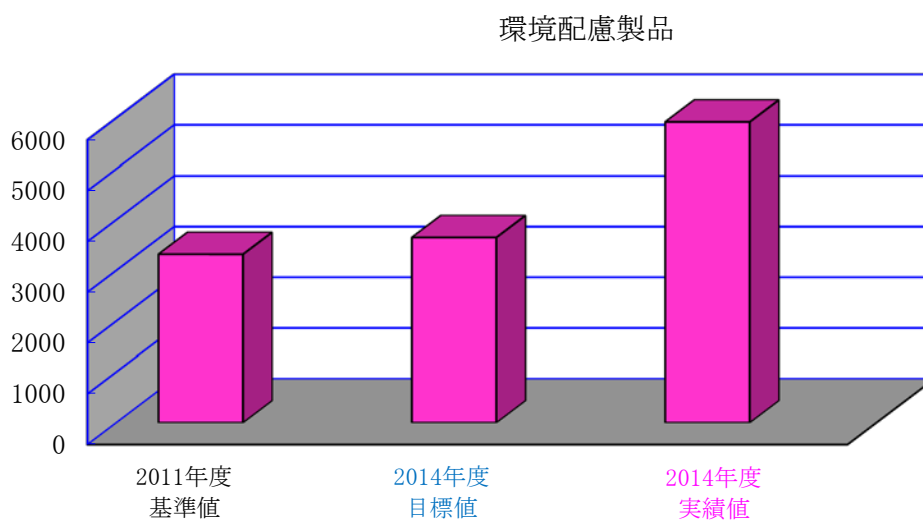


表. 1-4

環境項目	単位	2011年度	2014年度	2014年度			
		基準値	目標値	実績値			
環境配慮製品	製品チップ°	t	3,317	3,649	5,921		



Ⅲ、環境目標

2、環境目標の設定

当社では、平成23年度を基準年度として中長期及び単年度の環境目標を、それぞれ表. 2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

平成26年度の目標は、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量ともに、平成23年度の基準値より3～5%削減とし設定しています。

表. 2

コア指標	境方	環境目標項目	責任部門 責任者	削減率又は増加率(%) 単位	基準年度 基準値	年度毎目標(基準年度に対する削減(増加)率) (目標値)		
						H24年度	H25年度	H26年度
						二酸化炭素排出量	電力の二酸化炭素排出量の削減	総務部 浦田 詩織
	ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減	工務部 古館 久生	削減率(%) kgCO ₂	H23年 678,068	3	4	5	
	灯油、LPG等の二酸化炭素の削減	工務部 佐々木 章二	削減率(%) kgCO ₂	H23年 21,332	1	2	3	
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減(自社排出量)	事務局 下村 敏也	削減率(%) kg	H23年 178	1	2	3
		産業廃棄物(廃プラ等)の削減	産業廃棄物処理部 小阪 則夫 工務部 古館 久生	削減率(%) t	H23年 11.2	1	2	3
		建設リサイクル(再資源化)率の増加(自社排出量)	工務部 古館 久生	増加率(%) %	H23年 99%	99%以上	99%以上	99%以上
総排水量	水資源の有効活用	節水・適正な排水処理	総務部 浦田 詩織	削減率(%) m ³	H23年 159	1	3	5
総物質生産量	環境配慮製品の販売	環境配慮製品の販売強化	環境管理責任者 金田 貴行	増加率(%) t	H23年 3,317	3	7	10
		施工・販売・提供に関する製品		増加率(%) 件数				行動目標 環境に優しい施工を推進する。
化学物質	化学物質の適正管理	化学物質の管理推進	総務部 古館 久生	削減率(%) kg	H23年 0	行動目標 ・化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。		
グリーン購入	グリーン購入推進	環境物品の購入推進	総務部 浦田 詩織	増加率(%) 万円	H23年 7	2	5	7

建設

コア指標	環境方針	環境目標項目	責任部門 責任者	削減率又は増加率(%) 単位	基準年度 基準値	年度毎目標(基準年度に対する削減(増加)率) (目標値)		
						H24年度	H25年度	H26年度
						二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量の削減
ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減	工務部 古館 久生	削減率(%) kgCO ₂	H23年 172,247	3	4			5
灯油、LPG等の二酸化炭素の削減	工務部 佐々木 章二	削減率(%) kgCO ₂	H23年 2,305	1	2			3
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減(自社排出量)	事務局 下村 敏也	削減率(%) kg	H23年 54	2	3	5
		産業廃棄物(廃プラ等)の削減	工務部 古館 久生	削減率(%) t		本社で処理		
		建設リサイクル(再資源化)率の増加(自社排出量)	工務部 古館 久生	増加率(%) %	H23年 99.56%	99%以上	99%以上	99%以上
総排水量	水資源の有効活用	節水・適正な排水処理	総務部 浦田 詩織	削減率(%) m ³	H23年 17	1	2	3
総物質生産量	施工・販売・提供に関する製品	環境配慮型施工等の推進		増加率(%) 件数				行動目標 環境に優しい施工を推進する。
化学物質	化学物質の適正管理	化学物質の管理推進	総務部 古館 久生	削減率(%) kg	H23年 0	行動目標 ・化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。		
グリーン購入	グリーン購入推進	環境物品の購入推進	総務部 浦田 詩織	増加率(%) 万円	H23年 4	2	5	7

本社・処分施設

コア指標	境方	環境目標項目	責任部門 責任者	削減率又は増加率(%) 単位	基準年度 基準値	年度毎目標(基準年度に対する削減(増加)率) (目標値)		
						H24年度	H25年度	H26年度
						二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量の削減
ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減	工務部 古館 久生	削減率(%) kgCO ₂	H23年 505,821	3	4			5
灯油、LPG等の二酸化炭素の削減	工務部 佐々木 章二	削減率(%) kgCO ₂	H23年 19,027	1	2			3
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減(自社排出量)	事務局 下村 敏也	削減率(%) kg	H23年 124	1	2	3
		産業廃棄物(廃プラ等)の削減	産業廃棄物処理部 小阪 則夫 工務部 古館 久生	削減率(%) t	H23年 11.2	1	2	3
総排水量	水資源の有効活用	節水・適正な排水処理	総務部 浦田 詩織	削減率(%) m ³	H23年 141.50	1	2	3
総物質生産量	環境配慮製品の販売	環境配慮製品の販売強化	環境管理責任者 金田 貴行	増加率(%) t	H23年 3,317	3	7	10
化学物質	化学物質の適正管理	化学物質の管理推進	総務部 古館 久生	削減率(%) kg	H23年 0	行動目標 ・化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。		
グリーン購入	グリーン購入推進	環境物品の購入推進	総務部 浦田 詩織	増加率(%) 万円	H23年 3	2	5	7

IV、環境目標の実績

平成26年7月から平成27年6月までの環境活動の取組について評価しました。
その結果は次表に掲げるとおりです。

取組項目		達成状況		単 位 基準年度比	達成状況	評 価
二酸化炭素排出量	電力	基準年	2011年7月から2012年6月	KgCO ₂	未達成	薪製造機の動力が電力の為、使用量が増加し、目標達成に至らなかった。
		目標	12,703			
		実績	18,206	143%		
	ガソリン 軽油	基準年	2011年7月から2012年6月	KgCO ₂	未達成	木くずの収集運搬量・処分量の増加に伴い、使用量が増加し、目標達成に至らなかった。
		目標	644,165			
		実績	767,777	119%		
	灯油 LPG	基準年	2011年7月から2012年6月	KgCO ₂	達成	目標達成。
		目標	20,692			
		実績	17,936	87%		
廃棄物排出量	一般廃棄物	基準年	2011年7月から2012年6月	kg	達成	目標達成。
		目標	173			
		実績	133	77%		
	産業廃棄物(廃プラ等)の削減	基準年	2011年7月から2012年6月	t	達成	目標達成。
		目標	11.00			
		実績	0.25	2%		
	産業廃棄物再資源化率の増加	基準年	2011年7月から2012年6月	t	達成	目標達成。
		目標	99.0%以上			
		実績	100%			
節水	水道量	基準年	2011年7月から2012年6月	m ³	未達成	下水道(推進)工事に伴い、水量が増加したため目標達成に至らなかった。
		目標	151			
		実績	344	228%		
環境配慮製品	製品チップ	基準年	2011年7月から2012年6月	t	達成	目標達成。
		目標	3,649			
		実績	5,921	162%		

VI、環境目標の実績

2、会議等の実施状況

実施内容 : 年次安全大会

日時 : 平成26年6月27日(金) 午後4:00～午後5:00

対象 : 全従業員



実施内容 : 現場内安全訓練

実施内容 : 安全朝礼



V、環境活動計画及び取組結果の評価・次年度の取組内容

1、環境活動計画の取組内容及び取組結果の評価・次年度の取組内容

項目	取組内容	評価	次年度の取組内容	
二酸化炭素排出の抑制	電 力	○昼休み等不必要な照明の消灯励行	2	照明器具の定期的清掃、交換についての取組を強化する。
		○現場事務所の部分照明を実行する。	2	
		○暖房温度(暖房20℃)の順守	2	
		○ドアの開け放しはしない。	2	
		○夜間、休日は、パソコン・プリンター等の主電源を切る	2	
		○照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している。	1	
	燃 料	○エコドライブの実施(急加速・急発進、アイドリングストップ)	2	軽油使用量の増加について、運搬経路、作業時間の改善等について、取組を強化する。
		○排気ガス・騒音のレベルを抑えるため適正な車両整備を行う	2	
		○車両・重機等の日常点検及び定期的な整備	2	
		○最大積載量に見合った輸送単位の設定を行っている	2	
廃棄物排出の抑制	一般廃棄物	○裏紙使用(再生紙利用促進)	2	一層強化する
		○使い捨て製品の使用や購入を抑制する	1	
		○使用済み封筒の再利用	1	
	産業廃棄物	○産業廃棄物管理(マニフェスト)の適正管理	2	この状態を継続する
		○木材・コンクリート等の再利用、分別、リサイクルの徹底	2	
		○産廃物保管状態の管理(飛散・漏洩・悪臭)	2	
節 水	用水・排水	○場内側溝などの油分、ゴミなどの浮遊物を除去する。	2	節水について水道配管の点検を強化する。
		○事濁水などによる水質汚濁の防止に取り組んでいる。	2	
		○事故防止や汚染防止のためにウエス等は、適切に準備・保管する。	2	
		○節水呼びかけ	1	
		○水道配管からの漏洩の定期点検の実施	1	
その他の取組	施設・設備	○飛散防止のため、排出コンベアにはカバーを装着する。	2	この状態を継続する
		○悪臭防止のため、木くず及び製品チップの長期保存は行わない。	2	
		○木くず置き場と製品チップ置き場にはコンクリートを敷設する。	2	
		○重機などのアイドリングは効率よく行う。	2	
		○腐敗性有機物の付着した木くずは性状不適合物とし受け入れない。	2	
	環境配慮型商品の販売	○チップのパンフレットの作成	2	この状態を継続する
	グリーン購入	○環境物品の購入に努める	1	一層強化する

評価: 取組んでいる、さらに取組みが必要1、取組んでいない0

VI、環境関連法規の遵守状況確認、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける産業廃棄物処理法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題がありませんでした。

VII、代表者による全体評価と見直し結果

今期(2014年度)の環境活動では、環境目標について主に電力・燃料使用・節水について未達成がありました。年々全従業員に環境活動に対する意識が高まってきているのを実感しています。

目標未達成の項目については、発生原因を把握し防止対策を考慮しながら、今後も環境活動を継続していきたいと思えます。

又、今年度まで平成23年度を基準年度として中長期・単年度の環境目標を設定していましたが、事業活動を考慮した結果、次年度から平成26年度を基準年度とし、環境目標を見直したいと思えます。

今後も全社をあげて環境活動に取り組み、環境負荷低減に努めていきたいと思えます。

VIII、廃棄物処理業に係る組織の概要

株式会社 曾我産業

法人設立年月日 : 1986年 2月 1日

資本金 : 2,000万円

1、許可の内容

産業廃棄物処分業

許可名 許可番号	許可年月日 許可の有効年月日	許可項目
青森県産業廃棄物処分業 許可番号00220102877	許可 平成23年1月30日 有効 平成28年1月29日	木くず (このうち、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)
岩手県産業廃棄物処分業 許可番号00320102877	許可 平成25年4月16日 有効 平成30年4月15日	木くず (自然木に限る。)
青森県産業廃棄物処理施設設置許可 許可番号17-8の2-13	許可 平成17年10月7日	木くずの破碎施設(移動式) BR120T-1
青森県産業廃棄物処理施設設置許可 許可番号19-8の2-7	許可 平成19年8月24日	木くずの破碎施設(移動式) BR200T-2
岩手県産業廃棄物処理施設設置許可 許可番号第107082-13号	許可 平成20年3月5日	木くずの破碎施設(移動式) BR200T-2

産業廃棄物収集運搬業

許可名 許可番号	許可年月日 許可の有効年月日	許可項目
青森県産業廃棄物収集運搬業 許可番号00200102877	許可 平成25年3月28日 有効 平成30年3月27日	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類(これらのうち、自動車 等破碎物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)
岩手県産業廃棄物収集運搬業 許可番号0030010287	許可 平成24年3月12日 有効 平成29年3月11日	木くず
秋田県産業廃棄物収集運搬業 許可番号0050110287	許可 平成24年3月27日 有効 平成29年3月26日	木くず

VIII、廃棄物処理業に係る組織の概要

1、許可の内容

一般廃棄物処分業

青森県八戸市一般廃棄物処分業 許可番号 八戸市指令第116号	許可 平成26年6月1日 有効 平成28年5月31日	木くず
-----------------------------------	-------------------------------	-----

一般廃棄物収集運搬業

青森県八戸市一般廃棄物収集運搬業 許可番号 八戸市指令第772号	許可 平成26年4月1日 有効 平成28年3月31日	可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、有害ごみ (可燃ごみについては、厨芥類を除く)
青森県青森市一般廃棄物収集運搬業 許可番号 青市指令廃対第73号	許可 平成25年9月12日 有効 平成27年9月11日	木くず
岩手県久慈地区一般廃棄物収集運搬業 久慈広域連合指令処理業事ご25第1号	許可 平成27年4月1日 有効 平成29年3月31日	事業系一般廃棄物(ごみ)に限る
秋田県鹿角地区一般廃棄物収集運搬業 許可番号 第2306号	許可 平成25年11月22日 有効 平成27年11月21日	一般廃棄物(木くず)
青森県黒石地区一般廃棄物収集運搬業 黒石地区清掃施設組合指令第2号	許可 平成27年4月1日 有効 平成29年3月31日	ごみ(送配電線の支障木伐採により生ずる木くずに限る)
秋田県上小阿仁地区一般廃棄物収集運搬業 許可番号 上住第106号	許可 平成26年10月1日 有効 平成28年9月30日	株式会社ユアテックが排出する、上小阿仁村内一円の配電線支障木 (木くず(伐採木))

2、施設の状況

車種	車番	最大積載量
グラップル車	八戸130あ1370	11,000 kg
グラップル車	八戸130あ3370	8,500 kg
グラップル車	八戸130あ5370	10,900 kg
グラップル車	八戸130う4370	10,000 kg
グラップル車	八戸130あ6370	10,700 kg
ダンプトラック	八戸130い2370	8,500 kg
ダンプトラック	八戸100さ3656	3,700 kg
ダンプトラック	八戸100さ3503	3,350 kg
ダンプトラック	八戸100さ1351	2,000 kg
ユニック	八戸100さ4006	2,000 kg
平ボディ車	八戸11す5666	2,000 kg

施設の種類	設置場所	設置年月日	処理能力
破碎施設 (BR120T-1) (移動式)	青森県八戸市南郷区大字中 野字丑木沢41番7	平成17年10月7日	木くず(このうち、特別管理産業廃棄物 であるものを除く。) 278t/日(34.75t/時間 8時間稼動)
破碎施設 (BR200T-2) (移動式)	青森県八戸市南郷区大字中 野字丑木沢41番7	平成19年8月24日	木くず(このうち、特別管理産業廃棄物 であるものを除く。) 340.8t/日(34.75t/時間 8時間稼動)

VIII、廃棄物処理業に係る組織の概要

3、処理実績

産業廃棄物の処理量

26年度(26年7月 ~ 27年6月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量t
収集運搬	(木くず)		2445.42
収集運搬量合計			2445.42
中間処理	(木くず)	(破砕)	3058.82
うち再資源化等	(木くず)	(破砕)	3058.82
	再資源化等量小計		3058.82
中間処理合計			3058.82
最終処分			
最終処分量合計			0
中間処理後の産業廃棄物	最終処分		
	再資源化等	(木くず)	(製品チップ(燃料用チップ・家畜敷料・パグ堆肥原料及びマルチング材として売却))
再資源化等量小計		3058.82	
中間処理後処分量合計			3058.82

一般廃棄物の処理量

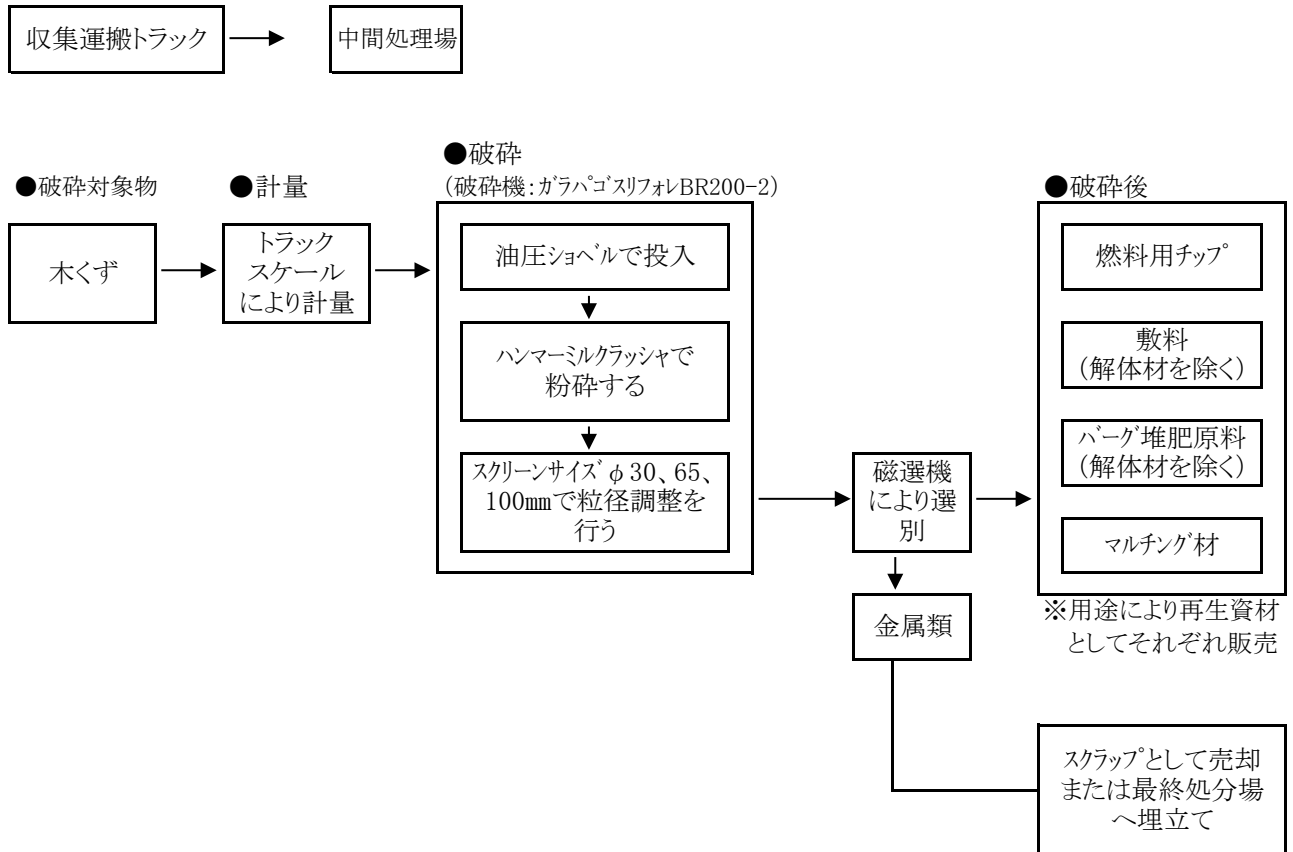
26年度(26年7月 ~ 27年6月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量t
収集運搬	(木くず)		2418.41
収集運搬量合計			2418.41
中間処理	(木くず)	(破砕)	2861.84
うち再資源化等	(木くず)	(破砕)	2861.84
	再資源化等量小計		2861.84
中間処理合計			2861.84
最終処分			
最終処分量合計			0
中間処理後の産業廃棄物	最終処分		
	再資源化等	(木くず)	(製品チップ(燃料用チップ・家畜敷料・パグ堆肥原料及びマルチング材として売却))
再資源化等量小計		2861.84	
中間処理後処分量合計			2861.84

VIII、廃棄物処理業に係る組織の概要

4、処理工程図

概要： 各現場により収集運搬されたきくずを中間処理場の破砕機（ガラパゴス リフォレ）で破砕を行い、破砕された木くずは下図のように再生資材としてリサイクルする。



5、組織図

